

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

No. 7 2021年8月3日 JR東労組

これからも、森びとプロジェクト顧問宮脇昭氏から教えていただいた

山と心に木を植えよう！を実践していこう！

JR 東労組は「森びとプロジェクト」の活動を支援しています。

その「森びとプロジェクト」顧問の宮脇昭氏が、2021年7月16日に93歳で永眠いたしました。ここに生前のご厚誼に対し深く感謝するとともに、謹んでお知らせいたします。

宮脇昭氏には、JR 東労組としても大変お世話になりました。



21世紀を目前にした時期、自然環境を守るために、JR 東労組とJR 東日本、JR 北海道の労使は、2000年から「大沼ふるさとの森づくり」に5年間取り組み、その後、JR 東日本は、JR 東日本管内で森づくりを進めてきました。労使で進めてきたこの取り組みは、宮脇昭氏の指導のもとに行ってきました。



故宮脇昭氏が顧問となって、故岸井格成氏を委員長として2004年に山と心に木を植える「森びとプロジェクト委員会」を発足し、私たち JR 東労組は活動に参加し、継続して支援しています。

また、JR 東労組顧問だった故松崎氏との対談で、宮脇昭氏は「私は植物の社会しか分かりませんが、人間社会においても、いろいろな組織論の本が出ていたりもしますが、現場を無視しては出来ないことです。現場からの成果がすべてであり、それしか生き残らないということ、みなさんが努力してやっているのを見ながら感じています。」(バチが当たるぞ！松崎明対論集より)とおっしゃっていました。



2004年8月の政経フォーラムにお越しいたいたときには、本物の森づくりをしていくために、現場を調べることの重要性、丸投げをしないことなどが必要だと、私たちの活動にも通じることを講演いただきました。

コロナ禍で厳しい状況だからこそ、人に優しい自然環境と社会環境をめざしていきましょう！JR 東労組として「抵抗とヒューマニズム」の精神で、仲間と共に進んでいこう！

